

デイサービスあつた 2023 年度 保護者向け自己評価アンケート結果

1. 放課後等デイサービス自己評価

実施時期	2024 年 1 月 9 日～2024 年 2 月 29 日	回答方法	Web 上におけるフォームにて匿名回答
回答状況	配布人 回答 29 人 回収率 86%		

<自己評価集計結果>

区分	設問	はい	どちらともいえない	いいえ	保護者のご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広くて、プールもあり 遊びにバリエーションがある。</li> <li>○通園の時と変わらない環境で過ごせるのが子どもにとっては安心できる場所になっている。</li> <li>○おやつを作ったり食べたりするお部屋や、室内遊びの部屋が十分にあると感じている。</li> <li>○外に遊びに行ったり雨天の過ごし方など。</li> </ul>	
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	89.7%	6.9%	3.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生によってパニック時の対応が適切か不明。</li> <li>○先生方は特性をよく理解して下さり、専門性もあってとても頼もしい。しかし、OT、PT、ST など、更に子供達のフォローに専門性の高い方がいてくださると良い。</li> <li>○配置数に関しては、実際に子どもをみている職員の方々の意見を大切にしたい。大変な仕事なので、少しでも楽になるよう、ぜひ人数を増やすべきだと思う。</li> <li>○先生方の過重労働ではないかと思う事がある。年齢が上がるにつれ、常に一生懸命関わって頂いているが、高学年、中学、高校の子ども達の発達等の専門性については、先生方の専門である幼児期と比較して、若干心配な面がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、基準症例に基づき、適切な人員配置に努めてまいります。</li> <li>・専門性については、職員間の情報共有や研修の機会の保障でもって、より高い専門性を目指していきます。</li> </ul>
③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	48.3%	31%	20.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○老朽化が進み、石川県のような大きい地震がきたら潰れそうで怖い。</li> <li>○建物の老朽化が否めない。</li> <li>○以前に比べて随分改善されてきているが、車椅子などで 2 階へ上がることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化に関しては、所内で議論を進め、行政に働きかけていきます。</li> <li>・修繕が必要な場所においては、順次業者と相談しながら安全に利用していただけるようにします。</li> <li>・引き続き、安心して利用していただけるよう、介助の方法も学んでいきます。</li> </ul>
④	子どもと保護者のニーズや題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか。	89.7%	10.3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○買い物や外出、おやつ作りなど家庭ではできない事をして下さるので助かっている。</li> <li>○デイは利用できるが、寒い中公園や散歩は控えたい中で、スタッフ不足を考えるとなかなか言いにくい、当日どんな活動をするのか等、1ヶ月単位が難しい場合でも、前日までには把握できれば、親子ともに見通しをたてられ、安心だと思う。</li> <li>○先生方もデイ以外のお仕事も忙しくされていて、何となくデイそのものが、主体になっているのか不安になる事がある。</li> <li>○一般的に他事業所はデイの受入れ前の午前中、準備をしたり、情報交換をしたりする時間があるように感じるため。</li> <li>○計画等はよく分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの学年齢に合わせて、生活やあそびを発展させ、計画的なプログラムを実施します。</li> <li>・日々、ニーズを捉えながらあつた全体として、デイの活動の検討や見直しを行っていきます。</li> <li>・年間予定も含め、1～2か月単位で活動内容を具体化し、保護者の皆さんにも見通しを持っていただけるように努めます。</li> </ul>
⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	96.6%	3.4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもも今日は何をするのか楽しみにしている。</li> <li>○様々な取り組みをして下さり、とても満足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、子ども主体のプログラムを考えていきます。</li> </ul>

	るか。				<ul style="list-style-type: none"> <li>○買い物や公園など、外に連れ出してくれたり、電車などを利用して遠出してくれたりと、工夫してくださっていて、ありがたい。</li> <li>○短時間でたくさんのごことを経験できて感謝している。</li> <li>○公園や散歩はあつたの良さでも受けて止めているが、この週はクッキング、公園、散歩、体感遊びなど、月の中でメリハリがあると良い気がする。</li> </ul>	また、子どもたちの姿を踏まえ、活動の内容を改善したり、発展させていく事で、より楽しめる活動を考えていきます。
⑥	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	93.1%	6.9%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正直、他事業所の申し送りは、ノートプラス口頭連絡があるため、わかりやすくその日の活動やこどもの状況が把握しやすい。</li> <li>○分からないこともある。</li> </ul>	・年度初めだけでなく適宜、説明させていただきます。
⑦	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	93.1%	6.9%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いつもデイでの様子が聞けて嬉しい。</li> <li>○送り迎えの際、話す時間がとれており、こどもの様子を共有することができている。</li> <li>○利用する日数も少ないためそこまで感じない。</li> </ul>	・送迎の際に、その日の活動の内容や子どもの様子は個々に丁寧に伝えさせていただきます。
⑧	保護者に対して面談や、困りごとに対してのアプローチはあるか。	82.8%	10.3%	6.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いつも相談にのって下さり、助かっている。</li> <li>○お迎えの少しの時間でも、話しやすい環境であると感じている。</li> </ul>	・送迎の時間を利用し、家庭の様子や学校での様子を丁寧に聞き取ります。
⑨	保護者会等の開催等により保護者同士がつながれる機会を設けているか。	32.1%	42.9%	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お互いの近況などを聞きたいので開いて欲しい。</li> <li>○イベントで他の保護者の方や、デイ以外の保護者の方とも交流できる機会があつて嬉しい。</li> <li>⑨の質問「いいえ」を選べない</li> <li>○通っている他の親子の顔がわかるのは嬉しく、時には情報交換の場になりありがたい。</li> <li>○1度しか出席してないので分からない。</li> </ul>	・次年度は交流会、学習会なども開催していきます。
⑩	子どもや保護者からの苦情や意見・要望に対して迅速かつ適切に対応しているか。	86.2%	13.8%	0%		
⑪	おたよりやホームページ等で行事の案内や年間予定、連絡事項の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信しているか。	82.8%	13.8%	3.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前半の行事予定はもらったのですが、後半のをもらっていないので予定が分からない。</li> <li>○連絡帳が活用されていない。必要ないなら知らせて欲しい。全体的に連絡が遅い。行事の有無を含めた連絡や、年間予定はもっと早く欲しい。</li> <li>○していると思う。</li> </ul>	・年間の予定が決まり次第お伝えします。 ・直接お伝えすることが出来なかったことに関しては、紙面やメールなども利用してお伝えしていきます。
⑫	個人情報に十分注意をしているか。	86.2%	13.8%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の連絡帳はあくまで学校と保護者の共有物のため、デイの先生方が読むことがあるのであれば、承諾後が望ましいのではないかと思います。</li> <li>○していると思う。</li> </ul>	・必要な時は保護者の方に承諾を頂くようにします。
⑬	事故防止マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、保護者に周知・説明されているか。	75.9%	24.1%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特に受けたことはない。</li> </ul>	・全体に周知できるよう、説明できる機会を設け、保護者の方がいつでも閲覧できる場所に掲示するなどの工夫をします。
⑭	定期的に非常災害の発生に備えた定期的防災訓練が行われているか。	57.1%	35.7%	7.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地震発生時に老朽化による倒壊の可能性があると思われる。</li> <li>○通園の時はあつたがデイになってからは聞いた事がない。</li> <li>○避難訓練をしたという話を今年度聞いたことがない。</li> <li>○このご時世なので、頻度を増やすと、もしもの時や災害時の学習にも繋がるのではないかと思います。</li> <li>○分からない。</li> </ul>	・訓練の実施日や内容等、具体的に周知できるように年間、月間予定で伝えます。
⑮	子どもは通所を楽しみにしているか。	96.3%	3.7%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卒園してからも時々、担任だった先生が様子を見に来てくれて、慣れた環境で過ごせるのが嬉しいみたい。</li> <li>○通所の日には表情が明るく、楽しみにしていることがよく分かる。突然来年度から行き場を失う、または楽しみの機会を減らされるかもしれないとは信じられない。</li> <li>○送迎の関係など日によって異なる。</li> </ul>	・引き続き、子どもたちが安心できる場所、楽しみに通える場所として環境を整え、要求となる活動に取り組んでいきます。

⑩	事業所の支援に満足しているか。	96.4%	3.6%	0%	<p>○親子共々安心して利用できる。</p> <p>○先生方は限られた時間の中で本当に一生懸命されていると感じる。ただ、先生方の努力だけでは難しい部分があるとここ数年特に感じる。大切な我が子を預ける以上、よりよく安全安心に通えることが大事になるが、あつたの良さを考えた上で時代の流れや他事業所との違いを考える日々である。</p> <p>○担当の先生方の努力と奉仕の心だけでは運営自体が難しくなってきたような気がする。</p> <p>○園長先生をはじめ社会館全体で、現在の放課後デイのあり方を考えてほしいと切に願う。</p> <p>○送迎ないのは厳しい。</p>	<p>・デイの運営や取り組みに関しては、担当だけでなく、事業所の職員も含めて検討・改善をしていけるように努めます。また、社会情勢もふまえて、地域の他事業所と連携を取りながらあつたのデイの在り方を考えていきます。</p>
⑪	管理者・児童発達支援管理責任者は、子どもや保護者のニーズを十分に把握して、支援や運営など適切な業務を行っているか。	96.4%	3.6%	0%	<p>○管理者なのか分かりませんが、園長が変わられたとの事でしたが1度もお目にかかっていない。</p> <p>○子どもがたのしみに通っている場を、いきなり減らすのはやめて欲しい。</p> <p>○保護者が管理者や責任者に声をあげる機会が少ない。</p> <p>○今回最後のデイの説明は遅かったが、その他に関しては大丈夫だと思う。</p>	<p>・運営上での大きな変更がある場合は、迅速にお伝えできるようにします。また、保護者の皆様やお子様のニーズを踏まえ、適切な支援内容に反映させていただきます。</p>

## 2. 児童発達支援自己評価

実施時期	2024年1月15日～2月29日	回答方法	アンケート用紙での匿名回答
回答状況	配布10人、回答10人、回収率100%		

### <自己評価集計結果>

区分	設問	保護者のご意見				保護者の評価を踏まえた改善目標	
		はい	いいえ	どちらともいえない	わからない		
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	80%	10%	10%	0%	<p>・通園部の子が優先して使用しているので十分には確保されてはいないと感じる。</p> <p>・子の人数が少ない分、余裕をもって走り回ることができている。</p> <p>・安全に遊べるように考えてくれている。</p> <p>・全体の人数が増え、ホールなどの屋内設備を以前ほど自由には使えないと感じた。</p>	<p>・通園の使用時間を調整しつつ、要求になる活動の場所を保障していく。</p>
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	60%	0%	20%	20%	<p>・子の様子を聞いて(相談)いただき、それに対して納得のいく話が聞ける。</p> <p>・親側の相談に応じてもらえ、アドバイスや提案ができる方がかりでいつも助けられている。</p> <p>・時々先生が二人体制になる際、他のお母さんと話している時など子どもたちが目の届きにくい場所に行ってしまう場面があり、ハラハラした。</p>	<p>・保護者の方との引継ぎは、子どもたちの動きが見通せる場所で行い、安全に見守れる配慮をします。</p>
③	生活空間(部屋、トイレ等)は、子どもにとってわかりやすい環境か。	100%	0%	0%	0%	<p>・子どもはすぐに覚えていた。</p> <p>・わくわくのトイレタイムと重なることがあり、その時は狭くて大変だからバッチングしないと助かる。</p>	<p>・それぞれの活動のタイムスケジュールを共有し、利用時間を調整します。</p>

④	生活空間(部屋、トイレ等)は、清潔で心地よく過ごせる環境に整っているか。また、子どもに合わせた空間になっているか。	60%	10%	30%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化のせいで掃除してもキレイに見えづらいが、トイレの汚れが気になる。冬休み明けにペーパータオルのゴミ箱がパンパンになっていて長らく回収されていないのかと思った。おまるの洗浄のやり方も水で流すのみだった。おまる自体ホコリがたまっている。使用する時はペットシートをひいたり、使った後はアルコールで拭いて欲しい。</li> <li>・教室は日当たりも良く、キレイで清潔感がある。</li> <li>・古いため、可能ならキレイな新しい部屋やトイレがあると嬉しい。</li> <li>・走って教室に向かう様子がある。</li> <li>・老朽化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの清掃はゴミの片付けも含めて、利用時間前に確認をします。</li> <li>・オマルに関しては、子どもたちが使用していない時間で洗浄します。</li> <li>・必要に応じて華能な範囲での修繕を行います</li> </ul>
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか。	80%	0%	10%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧にお話を聞いていただいた。</li> <li>・当初は先生方の分析に疑問を持つこともあった。数時間見る先生と、一日見ている親との間での分析にズレは出るものだった。そのギャップを一年通し埋めてもらえたと感じている。また、具体的に目標を言ってもらえ、ビジョンが共有できるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、家庭での姿を丁寧に聞き取り、利用児童の捉えを共有し、支援につなげていきます。</li> </ul>
⑥	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	80%	0%	0%	20%		
⑦	保育内容は、子どもたちに合ったものか。	80%	0%	20%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親との分離で、分離が少し難しい子に合わせるのには仕方ないですが、もう少し回数を増やして親と離れることを慣れさせる練習がしたい。</li> <li>・楽しく参加できている。</li> <li>・子ども自身に楽しめるもの、あまり好きじゃないが皆とやってみるなど色々な幅のある体験学習のチャンスをもたらえてありがたい。</li> <li>・自分の子には合っているが、他の子はどうか？と思うことがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きお子さんの姿を丁寧にとらえた上で、段階的に進めていきたいと思えます。</li> <li>・色々な活動を通して、個々の好きなこと、苦手なことなど経験の幅を広げられる内用を取り入れていきます。</li> </ul>
⑧	契約に関すること、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	80%	10%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の少ない中で説明を心掛けてもらっていると思う。</li> </ul>	
⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	80%	0%	20%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、先生とお話をしながら日常の子どもの様子を聞いていただく時間がたっぷりある。</li> <li>・毎回お話しする時間があり、子どもの性格をよく分かってくれている。</li> <li>・11月までにある程度会話の時間があるので、12月以降の子どもだけでも安心して送り出せた。</li> </ul>	
⑩	保護者に対して面談や、子育てに関する困りごと、相談に対する助言等の支援が行われているか。	90%	0%	10%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談した時も答えは出ないが、今の子どもに合わせて(成長段階に合わせて)具体的な対応策をもっと一緒に考えられるとありがたい。</li> <li>・相談に何度も時間をとって頂きありがたかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容に合わせて、具体的な助言が行えるよう、職員の専門性を高め、保護者の皆様と一緒に考えていける場所にしていきます。</li> </ul>
⑪	保護者同士がつながりをもてたり交流ができたりするなど、保護者同士の連携が支援されているか。	90%	0%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みを打ち明け、一緒に気持ちを共有できるママがいて助かる。</li> <li>・11月までに共に作業したりと機会は多かったと思う。</li> <li>・分離時や勉強会なので交流できて良かった。</li> </ul>	
⑫	定期的におたよりやホームページ、メール等で、行事予定や保育内容、連絡事項に関する情報を保護	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症など、通園ではやっている状況もリアルタイムで共有してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園の保健だよりも活用しながら、リアルタイムでの情報を提供していきます。</li> </ul>

	者に対して発信されているか。					・毎月のおたよりが楽しみ。	
⑬	個人情報に十分注意をしているか。	60%	0%	10%	30%	・明かされたくない内容を話されたといった事はないので十分。 ・毎日の記録の返事が他の人に渡ってしまうことがあった。	・引き続き個人情報の扱いには注意を払い、複数の職員で確認します。
⑭	管理者・児童発達管理責任者は、子どもや保護者にとって、支援や運営などにおいて適切な業務をしているか。	70%	0%	0%	30%	・不安を除いてもらい、子どもへの向き合い方を模索してもらえ、保護者にとり十分すぎる内容だと思う。 ・クッキングやバースデーのお祝いなど本人も料理が好きになったきっかけになった。色々考えて企画して下さりありがたい。	
⑮	緊急時対応、事故防止、感染症等におけるマニュアルが策定され、かつ保護者に周知・説明がされているか。	10%	10%	40%	40%	・まだ聞いたことがないような気がする。(していたらすみません) ・コロナ関連などの資料はもらえている。	・具体的に訓練内容の揭示し、保護者の方にも周知していきます。
⑯	非常事態に備えた防災訓練等、災害に対する訓練は行われているか。	10%	10%	0%	80%	・子どもや親と共に行うものがなかったので不明。 ・普段、先生方が訓練をしていると思うので心配はしていない。	・具体的に訓練内容の揭示し、保護者の方にも周知していきます。
⑰	子どもたちは、楽しみに通えているか。	70%	0%	30%	0%	・楽しみに通えていることも多いが、たまに急に泣いて嫌な事を思い出すのか、嫌がる時がある。 ・家ではなかなかできないスライム作り、絵の具での制作などでできて、楽しそう。 ・楽しく通えていると思うけど、終わった後に迎えに行くとギャン泣きしたり、やり直しをしたりすることがあるためどちらかわからなくなる時がある。 ・帰りがたがらなかったり、帰路で「次は？」と尋ねてくることがあった。 ・保育園でも、先生達から「療育の効果ですね！」と言われることがあった。癩癩が減ったり、給食を食べられるようになったり、色々成長した。 ・月・木以外にも行きたがる。	・引き続き、それぞれのお子さんが楽しく通える内容を職員と検討し、その中で姿を保護者の皆さんと共有することを大切にしていきます。
⑱	ちゅうりっぷぐみの保育やデイサービスあつたの支援は、子どもたちや保護者のみなさんにとって十分なものか。	70%	0%	20%	10%	・ST,OTなどもっと取り入れてもいいかも。 ・悩みや困りごとがあっても先生方に聞いてもらえるとほっとする。 ・ちゅうりっぷが終わった後に、何時間も散歩に出掛けたりするため活動内容が足りない？のかと思う。 ・先生方の負担が多すぎるのではないかとたまに不安になる。過分な程かと・・・。	・必要に応じて専門機関と連携を取り、日々の療育に生かしていきたいと思います。 ・それぞれの子どもの要求に合った活動を取り入れると共に、集団としての活動も大切にしていきたいと思います。

以上の結果を公表致します。頂いたご意見をもとに、プログラム内容等の改善に努めて参ります。  
アンケートへのご回答ありがとうございました。

管理者・児童発達管理責任者：藤田 知子

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表(2023年度)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			広さを確保しながら行っている。	
	2	職員の配置数は適切である		○			引き続き、この人数だけでなく障害やその子に合わせて人数を増やせると良い。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			○	階段を上がることが難しい子は職員が抱井上げて登っている。	歩行が不安定児童が階段を利用する時の安全面必要に応じて、デイの活動を1Fで行う
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		ケースを行い、振り返りと共に改善点を共有している。	振り返りを支援の内容に生かし、改善につなげていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		より多くのアンケートを回収できるようにメールでの回答をお願いしてきた。	意向を把握するようにしているが、改善が難しい事もある。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				すてっぷサポート、法人HPに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				通所しているお子さんの情報を会議で共有し、支援の内容に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			全職員ではないが、パート職員を含め、研修参加への呼びかけをしている。	パートの職員にも呼びかけを行い、参加できるようにしていく 参加できなかった職員には、内容の伝達や資料の配布を行い、共有できるようにする。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				過ごすメンバーが変わらないので、要求になる活動を中心

							に進めると固定化してしまうため、経験したことのない活動も取り入れるようにする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			学校休業日は、長時間の開所を行い、特別プログラムを行っている。	来年度は土曜日の開所時間を長くし、長時間受け入れられるように体制を組んでいく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			子どもの姿によっては過ごす部屋やグループを分けて活動をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○			保護者便りのところが大きいため、必要に応じて直接学校と連携をとっていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			発達センターあつたと同一敷地内で事業を行っているため、幼少期の様子などを把握するようにしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○		保護者の方にはその都度デイサービスでの様子はお伝えしているが、保護者の同意の元、必要に応じた引継ぎは行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				近隣にないため、事業所としての交流はないが、地域の公園へ出掛けた時は、同じ場所を共有してあそぶ機会を大切にしている。		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○					
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				引き継ぎの時間に差が出来てしまうこともあるので、どうしても必要なことは個人懇談の時間を設けて伝えられる機会を作る、	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○					
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○					
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				○	コロナ禍の名残で集まる機会は作れていない。保護者の方からの要望もあるため、色々な形で開催する機会を設けていきたい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○					
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している				○	予定はGメールにて確認をとっている。	
	35	個人情報に十分注意している	○					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				○	行事にボランティアとして参加していただけるような機会は作っている。	行事だけでなく、地域の方に事業所の事を知ってもらう機会は作れるようにしていきたい。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○					
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				保護者の方にも具体的にどんな内容で訓練しているのかを周知できるようにしていく。	



の 対 応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			登会時、保護者の方に、使用する食品の表示を確認してもらっている。エピペンの確認も同じように行っている。	受け入れ時に確認する職員を限定し、今後も間違いのないよう丁寧に保護者の方と確認できるようにする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				

### 事業所職員向け 児童発達支援評価表(2023 年度)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題・改善すべき点
環 境 整 備 等	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか		○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			バリアフリーにはなっていないため、歩行が安定していないお子さんには大人が近くにつくようにし安全には気をつけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			子どもたちが登園する前と、登園後に清掃をしている。	清掃は毎日行っているが、老朽化により使い肉部分はあるので、必要に応じて修繕はすすめている
業 務 改 善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				

	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			園内で行う研修には、パートと職員の参加を呼び掛けている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		○		季節に合わせた取り組みや、個々の特性に合わせた療育・保育づくりを大切にしている。 前期・後期に分けて計画を作成し、子どもの姿に合わせた支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			子どもの姿に合わせて、活動のエリアを分けたり、タイミングを分けて安心して向かえるように工夫している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検	○			

		証・改善につなげているか				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○		子どもの姿の変化に応じて支援の内容を再検討していく。
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域の保健師さんとは定期的な会議を行い、情報共有している。	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		中央療育センターでの発達検査の結果の情報提供を受けており、連携を行いながら色々な視点で子どもの姿を捉えるようにしています。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	直接、園どうしの交流は無いが、地域の公園等で顔を合わせる機会はある。	今後も積極的に地域の公園や広場に出向き、場所や物を共有してあそぶ経験にしていきたい。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ているか	○			
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			

任 等	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○			
	34	子どもや保護者からの相談の申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一回クラスたよりを発行して、予定等を書面で伝えるようにしている。	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○			
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		あったかカーニバル等で事業所の事は知ってもらえる機会をもてるようにしたい。
非 常 時 等 の 対 応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○			
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		今年度は保護者を巻き込んで実施できなかったため、来年度は計画的に母子で参加できる訓練を実施していく。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				連絡ノートに服薬の記載、予防接種は児童表に記載してもらっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				小さなことでも事故につながる可能性があるため、職員同士で報告、共有しつつ、記入する習慣をつけたい。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				